

障害者総合支援法の概要③

あさひが丘学園統括施設長 水 流 純 大

障害者総合支援法の施行により平成二十六年四月から施行される事項のうち、障害支援区分の創設については前号で概略説明した通りであるが、他にも①重度訪問介護の対象拡大、②ケアホームのグループホームへの一元化、③地域移行支援の対象拡大などが行われることになっている。これらの事項は、厚生労働省障害保健福祉部長の私的懇談会として設置された「障害者の地域生活の推進に関する検討会」で検討されているが、本稿では特にケアホームのグループホームへの一元化の論点整理を中心として検討状況の概略を述べることとする。

第一の論点は、一元化後のグループホームにおける介護サービスの提供形態である。一元化後のグループホームは介護を必要とする利用者が必要としない利用者が混在し、また、介護を必要とする利用者の数も一定ではないことが考えられる。そこで、グループホームで提供する支援を「基本サービス（日常生活の援助等）」と

「利用者の個々のニーズに対応した介護サービス」の二階建て構造とし、介護サービスの提供形態として、①現行のケアホームと同様にグループホーム事業者自らが介護サービスを提供する形態（介護サービス包括型）、②グループホーム事業者は介護サービスのアレンジメント（手配）のみ行い、外部の居宅介護事業所に委託する形態（外部サービス利用型）の二つの類型が検討されている。

第二の論点は、設備基準についてである。現行のグループホームとケアホームは設備基準に差がないことから現行通りの共通基準とすることで特に問題ないと思われるが、議論の中で、複数人介助が必要な重度障害者等が多く入居するグループホームや都市部など土地の取得が極めて困難な地域については、規模に関して一定の配慮が必要ではないかとの意見が出されている。より具体的には、一定の要件を満たし、都道府県知事が認めた場合は、一住居当たりの入居定員を十人以上とすることが

できるようにしてはどうかとの意見である。これについては、グループホームの大規模化を助長するとの観点から反対意見もあり、今後さらに検討されることになっている。

第三の論点は、報酬設定についてである。現行のグループホームは訓練等給付であり、障害程度区分を反映しない同一単価となっているが、一元化により介護が必要な利用者も対象となることから、介護サービス包括型ホームについては、現行ケアホームと同様に、障害支援区分、人員配置に応じた包括的な報酬として設定することが検討されている。また、外部サービス利用型ホームについては、①利用者全員に必要な基本サービス単価を設定したうえで、②利用者ごとにサービスの必要性や頻度等が異なる介護サービスについては個々の利用者ごとに利用量に応じて算定する仕組みが検討されている。

最後の論点は、サテライト型住居についてである。地域生活への移行を目指している障害者や現にグルー

三施設共通

・落穂会・ゆうかりふれあい夏祭り
八月十日（土）ゆうかり学園で落穂会・ゆうかりふれあい夏祭りが開催されました。

太鼓の演奏から始まり、開会宣言の後、ゆうかり保育園の園児によるソーラン節、焼き鳥・焼きそばなどの出店紹介、バンド演奏、地域婦人会の方々の踊りや三味線の演奏、抽選会と続きました。

演奏や踊りに合わせて飛び入り参加する利用者もいて賑やかな舞台となりました。最後の抽選会では、羽なし扇風機や流しそうめんセットなど豪華な賞品が揃い、番号が呼ばれた方は嬉しそうに景品を受け取っていました。

夜になっても暑さが残る一日でしたが、たくさん笑顔が見られた夏祭りになりました。ご協力くださった方々、ありがとうございました。

旭福祉センター

・塚田神社六月灯
七月十三日（土）に塚田神社で六月灯が開催されました。舞台での踊りに一緒になって手拍子をしたり、くじ引きをしてピンポン玉や水鉄砲などが当たり、嬉しそうに職員に見せに来る姿も見られました。また、新任職員と利用者で「島唄」を歌い、

緊張している表情も見られましたが、最後には笑顔で楽しそうに歌っていました。

・キャンプ

七月二十七日（土）二十八日（日）、宮崎県高原町の皇子原公園へ入所利用者三十一名でキャンプに行きました。自然散策をしたり、長い滑り台で思い思いに滑った後、キャンプでは恒例になったバーベキューをして皆で盛り上がりました。日が暮れても暑い中ではありましたが、普段ではなかなか出来ない自然の中の食事に終始笑顔で過ごしていました。

二日目は高千穂牧場で雄大な緑一色に景色と牛や羊とのふれあいを楽しむこともできました。年に一度のキャンプを利用者全員、楽しんで過ごすことが出来ました。

地域生活支援センター

・グループホーム未帰省者外出
八月十四日 蒲生フォントナの丘で、グループホームの未帰省者外出を実施しました。利用者十七名、職員十二名でバーベキューを楽しみました。当日はおいしいお肉と、お酒も準備され、ほろ酔い気分でした。バーベキューを楽しむ方もいたようでした。参加した利用者からは好評で、また行きたいとの声も聞かれました。自宅でゆっくり過ごすことができなかった分、今後楽しい行事を企画し実施していきたいと思います。

・サマーナイト花火大会

八月二十四日、鹿児島県土木部港湾空港課から招待があり、第十三回サマーナイト花火大会の見学にグループホーム利用者十七名が参加しました。北埠頭の特別招待席での観覧でしたので、すぐ近くで見える花火は格別だったようです。花火より、屋台を楽しみにしている方もいましたが、大きな花火が上がるたびに大きな歓声があがり、皆さん楽しめた様子でした。来年は今回参加することができなかつた利用者の方たちと一緒に花火大会を楽しみたいと思います。

・フットサル大会

七月六日、第四回県知事杯知的障害者フットサル大会が中山の鹿児島ふれあいスポーツランドにて行われました。利用者は十三名の方が参加されました。大会前に週一回程度の練習を設けていたこともあり、保護者や応援に来た職員も見守るなか、皆さん試合に出場しました。試合は一勝もすることは出来ませんでした。勝たいたいという言葉も聞かれましたので、来年はもっと練習して、良い成績を残せるように頑張りたいと思います。

試合結果

◎あさひが丘A
対ワークショップはやと
0-4
対白薩摩(旭福祉センター)
0-5

◎あさひが丘B
対けいわB
0-9
対うめの里
0-10

あさひが丘学園

・納豆の寄贈

七月十日（水）佐藤食品工業、しか屋様より納豆の寄贈がありました。たくさん納豆を頂き、みんなで美味しく頂きました。ありがとうございました。

・塚田神社六月灯

七月十三日（土）利用者六十六名、職員三十二名が参加しました。夜の外出にみんな嬉しそうでした。

・夕涼み演奏会

七月十五日（月）あさひが丘学園園庭にてよしだ・ポップス・オーケストラ（YPO）の方々による第十一回夕涼み演奏会が開かれました。

当日は、素敵な楽器の音色が響き渡り、みんなを楽しませてくれました。ありがとうございました。

・保護者ボランティア

七月五日（金）、八月二十日（火）保護者会のお母様方によるボランティアが行われました。両日ともに、靴下などの衣類や小物へのネーム付け作業を取り組んでもらいました。

お忙しい中での参加、協力ありがとうございました。

・夏季休暇 学校児外出

八月六日（海水浴）、二十二日（いむた池プール）、二十七日（りぼんかん）三グループに分かれて夏季外出を行いました。

それぞれのグループ共に楽しい夏の思い出ができました。

「お仕事」

旭福祉センター 利用者
古田 亜美

私は、新しいお仕事が決まりました。宮之浦町にある株式会社フジデリ力です。最初は、面接をうけました。それで、面接にうかって、実習を八月五日から八月十五日まで実習をしました。私は、仕事をする時に髪の毛を出さないようにする帽子をかぶってから、洋服やズボンについてるゴミをコロコロでとる。それからこういう室に行つてから着がえます。タッチパネルをしてから、休憩室に行つて、自分の名前が書いてあるのを書いてから、作業に取り組みます。紙があるので、時間を書きます。洗物をしたり、ハンガーのじゅんびをしたり、そうじをしたりなどしています。これが、終わったら四十℃のところに行つて制服を広げて、ズボンは、名前が見えるように下に向けて、帽子は制服の間にに入れて、女子こいう室に持つていきます。制服を取りに行つた時間とくみたてる時間を書いたら、アカサタナに仕分けます。男子と女子は別べつに持つていつてかけます。おそうじをする人たちの、一番はしつこにかけて、次は、順番にかけて行く作業を行っています。

何事にも、チャレンジをしたいです。私は、欲しい物があります。それはコンボや可愛い洋服や靴が欲しいです。可愛い洋服や靴がないので、一生懸命働いて欲しい物を買いたいです。沢山お金がたまつたら、自立をして一人で暮らしてみたいと思います。

今は、出来ない事があります。出来ない所は職員と一緒に、お手伝いをしてもらいます。

色々、嫌な事があつても、楽しい事を考えます。私はすぐに、ふてくされないように頑張る事です。毎日、ニコニコであいさつをする事です。少しでも、頑張れる事は自分で頑張りたいです。

無理をしないで頑張りたいと思います。

「我路」から何年たちましたかね？」

旭福祉センター 保護者
森山 良二

私たちの息子も二十歳を迎えることになりました。生まれて二十年、あつという間に過ぎたというのが実感です。小学校の時からあさひが丘学園の「我路」で長期休みや放課後を過ごしてきました。私もこの時期の迎えには苦労しました。次男も保育園に通つていたので、私の仕事の終わり時間から、「我路」の迎えの時間、保育園の迎えの時間、いつも間に合うかなと心配していました。時間がすぎそうになると「ごめんなさい。」と連絡をすることもしばしばありました。高校生になると現場実習で旭

「親への感謝」

旭福祉センター 職員
竹中 由希子

私は社会人三年目ですが、親元を離れて五年目になります。高校卒業と同時に短大へ入学するため湧水町から鹿児島市内へ引っ越してきました。

福祉センターに泊まりで実習に参加することになりました。実習では、入所者の人たち、指導員の人たちによくして頂きました。卒業後は、旭福祉センターでお世話になることになり、本人も戸惑うことなく旭福祉センターでの生活になじんんでいます。週末には帰省していますが、とても楽しみにしているようで、私が迎えに来るのを楽しみに待っています。家では大好きなアニメのテレビをずっと見ています。ヒーローものでは大きな声を出して好きなキャラクターを応援しています。ご飯を食べることより好きで、「ご飯だよ」と声を掛けると、「えーっ」と言つて、私から怒られていきます。また、旭福祉センターに帰る事を促すと「まだ早い」「テレビが終わつてない」と言つて私を困らせます。車に乗せても「まだ、まだ」と言い続けて旭福祉センターに到着します。「着いたよ」と言うとすぐに車から降りて、玄関に着くころには少しバツが悪そうにしています。指導員の方の「お帰り」に笑つて答える姿にホッとしてセンターを出る私です。

初めは親から離れ、自分の好きなように過ごせる事がとても嬉しかったのですが、時が経つにつれ両親への感謝の気持ちが生まれてきました。市内の学校へ進学したいという私の意見を反対せず、「頑張れなさい」と心強く背中を押してくれた事、一人暮らしでも、お金の援助をしてくれた事、体調が悪いと連絡するとすぐに見舞いに来てくれた事、学校での勉強がうまくいかず泣きながら電話をするといつも優しく受け止め、アドバイスをしてくれた事など、振り返れば私はいつも両親に見守られてきました。それと同時に親の強さというものを見たような気がします。いくつになつても親は私にとつて親であり、親にとつて私は娘であるという意味がやつと理解できた瞬間でもありました。

社会人になって、お金をもらう事の大きさ、喜びを実感している現在ですが、自分の力で生活していく事の大変さも実感しています。

一人暮らしをしていると寂しさもありますが、家族の存在の大きさを実感します。

仕事で忙しかったり休みが合わず家族と会う事も少なくなりましたが、たまの休日には両親や祖父母たちに元気な姿を見せに行きたいと思っています。

将来私も自分の家庭を持つた時、両親が私にくれたように愛情を持つて接したいと思っています。そのためにも今置かれている環境、仕事はもちろん、人としても成長できるよう頑張つていこうと思います。

さんぽみち

今回は、旭福祉センターの「グループホームなのはな」にスポットです。ある日の夕食時にインタビュしてきました。

○こんばんは。今日は、みなさんの日頃の様子を聞きにきました。色々話して下さいね。

「なんか緊張するなあ」

（吉中さんはインタビュに行く事を伝えた時から緊張すると言っていました。でも顔は「ニコニコ」顔です。）



○今日の夕食は何ですか？

「親子丼！」

おいしそうですねー

「バッチリ！」

「美味しいよ」

（大きくうなずく）

「世話人さんのご飯はいつもおいしいよ。」

美味そうですね。私たちもお腹がすいてきました。

・・・と、ここで吉中さんが何か言いたそう・・・

「お茶いれましょうか？」

そう言つてテーブルにあつた麦茶を入れてくれました。

気が利きますね。ありがとつ。

○ここは何人で生活していますか？

「四名様（笑）」

「四人だよ」

○みなさん何時に起きますか？

えー！みんな早起きですね！

○なのはなを出るのは何時ですか？

「六時半」

「僕と小原君は七時に出るよ」

末永さんは清掃メンテナンスに行くから少し早く出るんですね。

ここからは、なのはなでの暮らしについて色々聞かせて下さいね。

○みなさんは役割分担など何かありますか？

「役割・・・洗濯はみんなまとめてしているよ」

「洗濯物は外に干すんだ」

「最近では灰がすごいよ！」

（灰がふるジエスチャーをして、嫌な顔をしている）

「灰がすごいから、最近では外に干せないよね。」

※インタビュをした八月二十三日は、前日から降灰にみまわれていました。

灰がすごかったですよねー！車や道路は真っ黒です。

○テレビはよく見ますか？

「歌番組！AKB48が好き！」



本日の夕食→

←みんな黙々と食べています



僕のコレクションだよ→



←AKB48のファンです



←バイクが好きな小原さん→

←しっかりとたまたまです



←いつも仲良しな「なのはな」のみなさん！いい笑顔→

「刑事ものかな。でも最近は見えない」

末永さんの部屋はAKB48のポスターがたくさん貼つてありますよね。

「あるある！」

ほら、吉中さん、末永さん、よく話してくれるけど、ご飯が進んでいないですよ（笑）福島さんと小原さんはもう食べ終わつてるよー（笑）

○みなさんの中で、なのはなで生活しているのが一番長いのは誰ですか？

（手をあげる）

「福島君、僕、小原君、末永君の順かな？」

じゃあ福島さんはこの中で一番先輩ですね。

（吉中さんと末永さん、すごく急いでご飯を食べています（笑）。）

○休日は何をしていますか？

「掃除とか、ローソンに行くよ」

「吉田のタイヨーに行くよ」

「うーん、買物かなあ」

（自転車をごく仕事をする）

そういえば、末永さんはこの間「さくらさくら」の浜崎さんと吉野食堂

に行った時に事件があつたとか・・・？

「お店に入る前は晴れてたのに、帰ろうと外に出たら雨がすごくてしばらくやむのを待つてたよ」

まさか、雨が降るとは思わなかったですね。でも風邪ひかなくてよかった。

やつと吉中さんと末永さんはご飯を食べ終わりましたね（笑）

○では、ご飯も食べ終わりましたが、今からお風呂ですか？

「うん」

「今日はみやぎ温泉に行くよ」

（みやぎ温泉の方向を指さす。）

「小原君と温泉に行つてきます。」

ゆつくり温泉に浸かつて疲れを取つて下さいね。

最後に、ホームの前で集合写真を撮りましょう！

夕食中には笑顔が多く、仲が良く個性派揃いの、なのはなのみなさんでした。これからも四人で楽しく協力しながら過ごして下さいね。

インタビュありがとうございました。



すなっふ スナップ

